

2016年8月20日(土) 10:00-16:30

## 「子どもの日本語教育研究会」第一回ワークショップ

テーマ：家庭・学校・地域の支援を結ぶ／日本語教育の方法

子どもの日本語教育に関心をもつ実践者・研究者の方に、その研究・実践のための方法論や新たな動向に関して情報を提供し、演習を通して実践的に理解するための場を提供します。今回は、横浜市の飯田北いちょう小学校を会場に、ラウンドテーブル（数名がテーマに関して発題し、それについて参加者全体でディスカッションを行う）と、日本語指導の方法に関するワークショップを行います。小中学校で日本語指導を担当なさっている先生方、地域の教室で子どもへの日本語・学習支援活動を行っている方、また、子どもたちの日本語教育、学校の取り組み、地域支援に関する研究を行っている方、是非ご参加ください。お申込みについては、HP等でお知らせいたします。

HP：<http://kodomonihongo.web.fc2.com/index.html>

- 1 主催：子どもの日本語教育研究会
- 2 場所 横浜市立飯田北いちょう小学校（〒245-0018 横浜市泉区上飯田町 3795）  
アクセス：相模鉄道いずみ野駅より徒歩 20 分  
小田急線高座渋谷駅より徒歩 20 分
- 3 定員 100 名  
子どもの日本語教育、学校における外国人児童生徒教育、地域における多様な言語文化背景の子どもたちへの支援に関心を持つ方
- 4 参加申し込み 6月下旬より こくち一ず（web サイト）にて申し込みを受け付けます  
参加費は無料 但し資料代として¥1000 を申し受けます
- 6 お問い合わせ 齋藤ひろみ・菅原雅枝・南浦涼介（東京学芸大学内本研究会事務局）  
[kodomonihongokyoiku★gmail.com](mailto:kodomonihongokyoiku★gmail.com)（★を@に変えてお送りください）

### 第1回ワークショップ実行委員会

委員長：菊池 聡（横浜市立飯田北いちょう小学校）

委員：菅野香織（横浜市立飯田北いちょう小学校）

黒田協子（神奈川県立相模向陽館高等学校）

鈴木浩男（横浜市立飯田北いちょう小学校）

平野康子（横浜市立大岡小学校）

福德未来（横浜市国際交流協会）

横溝 亮（横浜市立並木第一小学校）

## ＜プログラム＞

### ラウンドテーブル(午前) 「多様な言語文化背景をもつ子どもたちの家庭・学校・地域の支援を結ぶ」

3つの分科会に分かれてラウンドテーブル形式(参加者皆がテーブルについて、発表内容に関して意見交換や情報交換を行う)で、事例の報告とそれに関する話し合いを行います。在籍学級での教科学習のための支援、学校全体取り組む人権・平和学習、学校と地域・家庭を結ぶ母語による支援の事例をもとに、上記のテーマについて関連領域の専門家を交えて会場の皆さんと一緒に考えます。

#### 第1分科会 横浜市立飯田北いちょう小学校の取り組み

「在籍学級における教科学習支援の取り組み—算数科の学習活動でことばを鍛える」(仮)

発題: 菊池聡他(飯田北いちょう小学校) ディスカッション: 清田淳子(立命館大学)

#### 第2分科会 広島市立基町小学校の取り組み

「地域の歴史と少数派の人々の暮らしから学ぶ平和と人権—基町アパートのドラマ作りが生んだ子どもたちの学び」(仮)

発題: 二宮孝司・中村清夏(基町小学校) ディスカッション: 長谷部美佳(東京外国語大学)

#### 第3分科会 母語による学習サポートの取り組み

「外国につながる子どもの家庭と学校を結ぶ母語支援—中国人家庭の子どもの支援例から」(仮)

発題: 藤井文(鶴見区国際ラウンジ学習コーディネータ)

ディスカッション: 内海由美子(山形大学)

### ワークショップ(午後) 「日本語教育の方法—子どもの実態に応じた日本語指導を行うために」

日本語・日本文化以外の環境で育った子どもたちが「日本で社会生活を営み、学校等で学習参加するための日本語の力」を獲得できるように、支援者・教育者にはかれらの日本語の発達状況や学習・生活経験に応じた日本語の教育を実施することが求められます。このワークショップでは、子どもたちの日本語学習を「来日直後に初めて日本語を学び簡単な会話ができるようになる」「おしゃべりの力をてこに文章の読み書き等の力を高めていく」「日本語を学びつつ教科学習に参加するための力を高める」という3つの局面(段階)で捉え、それぞれを日本語初期段階、日本語中後期段階、教科学習段階と呼ぶことにします。各局面でどのように日本語学習の場をつくるのかについて、日本語学習活動を体験したり授業の計画を立てたりしながら検討します。今回は、初期段階でサバイバル日本語と語彙・表現の学習を、中後期段階で読む・書く活動を、教科学習段階では教科と日本語の統合学習を取り上げます。

WS1 初期段階の日本語指導の方法(サバイバル日本語、語彙・表現の学習を中心に)

WS2 中後期段階の日本語指導の方法(読み活動・書き活動を中心に)

WS3 内容重視の日本語教育「教科と日本語の統合学習」の設計と実施)

講師 WS1 大蔵守久(波多野ファミリスクール)、築樋博子(豊橋市教育委員会)

WS2 池上摩希子(早稲田大学)、花島健司(江戸川区立一之江小学校)

WS3 今澤 悌(甲府市立大國小学校)、大菅佐妃子(京都市教育委員会)

### 振り返りの会(茶話会形式)

この日一日の活動について振り返り、感じたことを交換するとともに、参加者の皆さん自身の実践や現場の課題、取り組んでいる研究と成果について情報交換をする時間を作ります。